

～ 社会福祉法人田村福祉会(三春町)が御下賜金を拝受 ～

天皇陛下におかれましては、天皇誕生日に際し、社会福祉事業御奨励のため、事業優良な民間社会福祉事業施設・団体に対し、金員を御下賜されました。

本年度は、本県においては「社会福祉法人田村福祉会」が拝受し、12月20日、県庁で佐藤知事から佐藤健理事長に伝達されました。



(知事から御下賜金を受ける佐藤理事長)



(知事と記念撮影)

「社会福祉法人田村福祉会」は、田村郡（現：田村市、三春町、小野町）における急激な高齢化及び高齢者生活基盤の弱体化に対する福祉施策として昭和56年7月に設立し、特別養護老人ホームを中核として、高齢者に対する施設・在宅福祉サービス事業を総合的に提供しています。

平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故により、「都路まどか荘」は緊急時避難準備区域となり、平成23年4月に同法人が運営する「ときわ荘」に避難しましたが、緊急時避難準備区域の解除により、平成24年3月に施設入所と短期入所を、平成24年7月にはデイサービスセンターを再開して、帰還高齢者の生活の拠り所としての役割を果たしてします。

平成25年6月～11月の間、各施設の職員を被災地域の特別養護老人ホームに派遣し、復興支援活動に取り組みました。

また、平成19年1月に地域福祉向上のため、隣接する2法人と「法人連絡協議会」を発足させ、各法人が抱える共通の課題や将来ビジョンについて、情報交換や研修会等を実施して連携を図っています。

田村福祉会は震災からの復旧、復興に寄与するとともに、地域の福祉ニーズを的確にとらえ、地域に密着した積極的なサービスの提供に努めている法人です。

～ おめでとうございます。～